	施設費	12,890,895	(61,088) 2,454,345	(—) —	15,345,241	注１
	運営費交付金	2,115	—	—	2,115	
	授業料	19,458	1,781	—	21,240	注２
	補助金等	11,489,074	—	—	11,489,074	
	寄附金等	73,842	3,500	—	77,342	注３
	目的積立金	3,283,012	841,673	—	4,124,686	注４
	損益外除売却差額相当額	△ 440,201	—	20,212	△ 460,414	注５
	計	29,822,526	3,301,300	20,212	33,103,613	
	損益外減価償却累計額	△19,202,502	△ 3,700,917	△ 12,162	△22,891,257	注６
	損益外減損損失累計額	△ 75,260	△ 4,915	△ 4,915	△ 75,260	注７
	差引計	10,544,762	△ 404,532	3,134	10,137,095	

注１．資本剰余金の当期増加額は、施設整備費補助金による固定資産の取得相当額です。
（　）は、国立大学財務・経営センターからの受入相応額を内数として記載したものです。
注２．資本剰余金の当期増加額は、授業料による美術品・収蔵品の取得相当額です。
注３．資本剰余金の当期増加額は、美術品の寄贈を受けたことによるものです。
注４．資本剰余金の当期増加額は、目的積立金による固定資産の取得相当額です。
注５．資本剰余金の当期減少額は、主に現物出資された固定資産の除却によるものです。
注６．損益外減価償却累計額の当期増加額は、主に現物出資された固定資産の償却によるものです。
当期減少額は、主に現物出資された固定資産の除却によるものです。
注７．損益外減損損失累計額の当期増加額は、現物出資された固定資産の減損によるものです。
当期減少額は、現物出資された固定資産の除却によるものです。

⑭　積立金等の明細及び目的積立金の取崩しの明細

⑭―１　積立金の明細　（単位：千円）

区　分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘　要
積立金	257,394	1,553,866	1,811,260	—	当期積立金　723,279 目的積立金からの振替額　830,586 国庫納付金　676,889 前中期目標期間繰越積立金への振替額　1,134,371
目的積立金	830,586	—	830,586	—	積立金への振替額　830,586
前中期目標期間繰越積立金	—	1,134,371	841,673	292,698	積立金からの振替額　1,134,371
計	1,087,981	2,688,238	3,483,520	292,698	

注．積立金の国庫納付等
１　前中期目標期間最終年度の積立金の期末残高は257,394千円であり、これに前中期目標期間の最終年度の未処分利益723,279千円及び目的積立金の使用残額830,586千円を加えると、積立金は1,811,260千円となります。
２　この積立金1,811,260千円のうち、今中期目標期間の業務の財源及び固定資産の見合い等として繰越の承認を受けた額は1,134,371千円であり、差し引き676,889千円については国庫に納付しました。

⑭―２　目的積立金の取崩しの明細　（単位：千円）

区　分		金　額	摘　要
目的積立金取崩額	教育・研究・組織運営等の充実のための積立金	—	
	計	—	
その他	教育・研究・組織運営等の充実のための積立金	841,673	資産取得によるもの
	計	841,673	

⑮　業務費及び一般管理費の明細　（単位：千円）

教育経費		
消耗品費	284,215	
備品費	90,646	
印刷製本費	59,342	
水道光熱費	261,642	
旅費交通費	232,812	
通信運搬費	66,112	
賃借料	114,531	
車両燃料費	3	
保守費	90,691	
修繕費	86,744	
損害保険料	596	
広告宣伝費	20,082	
行事費	6,938	
諸会費	9,250	
会議費	6,400	
報酬・委託・手数料	498,563	
奨学費	400,935	
租税公課	122	
減価償却費	373,198	
貸倒損失	2,043	
徴収不能引当金繰入額	5,645	
雑費	5,528	
他勘定受入	8,264	
他勘定払出	△ 700	2,623,613